

見えない

妊娠クライシス

誰にも言えない妊娠に
悩む女性を社会で支える

コロナ禍が浮き彫りにした
妊娠までも自己責任とされる日本社会

もしかして…
妊娠？

女性の孤立と赤ちゃんの0日死亡をなくす。

それって、
私のせい
(自己責任)？



危機的妊娠(妊娠クライシス)とは、経済的な困難をかかえていたり、誰にも知られたくない事情があったり、子どもを産み育てる環境を整えられない妊娠のことです。

このような思いがけない妊娠をした女性たちは、祝福されない妊娠に気づかれたくないため、誰にも相談できずに孤立しがちです。相談・支援の窓口にとどり着けないうまま、生まれたその日に赤ちゃんを死亡させてしまうことさえあるのです。

韓国での未婚母支援、フランスの「匿名出産」、ドイツの「ベビークラッペ(赤ちゃんポスト)」や「内密出産」など、女性と赤ちゃんのいのちと人権を守る海外での取り組みに学びながら、日本でのこれからの妊娠期の支援を考えたいと思います。

もくじ

詳細はウラ面

Q&A15

もしかして…妊娠？

どうしよう…

I 気づいていますか？

誰にも言えない妊娠

II 知っていますか？

日本の性と生の現実/リアル

III 海外に学ぶ

女性と子どもへの人権尊重と支援

編著 佐藤拓代

全国妊娠SOSネットワーク代表理事
母子保健推進会議会長、医師

著

松岡典子

MCサポートセンターみっくみえ代表
全国妊娠SOSネットワーク理事、助産師

赤尾さく美

ベアホープ理事
全国妊娠SOSネットワーク理事、助産師

姜 恩和

白鳥大学人間学部人間福祉学科准教授
全国妊娠SOSネットワーク理事

床谷文雄

奈良大学文学部教授、大阪大学名誉教授

A5判、並製、172ページ 定価2090円(本体1900円+税10%)

株式会社 **かもがわ出版** 〒602-8119 京都市上京区堀川出水西入
http://www.kamogawa.co.jp/ TEL:075-432-2868 FAX:075-432-2869

発注・出荷に関するお問い合わせは
かもがわ出版流通センターまで 〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町18
TEL:075-672-0034 FAX:075-672-0035

注文書	番線印	京都・かもがわ出版 注文 FAX:075-672-0035	
		見えない妊娠クライシス 誰にも言えない妊娠に悩む女性を社会で支える 編著者 佐藤拓代 定価 2090 円 (本体 1900 円 + 税 10%) ISBN978-4-7803-1108-5 C0036	
	お名前 (ふりがな)	TEL	
部	ご住所 〒		

Q&A

Q1

コンドームつけずに
セックスしちゃった…
妊娠したら
どうしよう…!

A1

産婦人科に行けば、緊急避妊薬(モーニングアフターピル)
という薬を出してもらえます。

セックスから3日(72時間)以内に飲めば、高い確率で妊娠を防ぐことができます。72時間を過ぎていても効果があることがあるので、少し過ぎていても受診したほうがいいですよ。妊娠を100%防ぐわけではないし吐き気などの副作用もありますから、あくまでも緊急時の手段と考えてくださいね。

費用は1回5000~1万5000円くらいかかります。
が、妊娠を望まないのなら、すぐに病院に行って相談してみてください。

A7

人工妊娠中絶が可能な時期は、妊娠22週未満までと
母体保護法で決められています。

この時期はまだ、赤ちゃんがおなかから出ても生きられないとされているからです。中絶手術にはパートナーの同意書が必要です。あなたが未成年なら、親の同意書も必要です。レイプなどで相手の同意がとれない場合は必要ありません。そもそも中絶が認められるのは、妊娠を続けると母親の健康を害する可能性があるときや、レイプのような状況で妊娠したとき、法律で定められています。学生だからとか、彼と別れたからという事情は、法律上、本当は理由とならないのです。「中絶するしかない」と考えずに、「にんしんSOS」に相談してくださいね。養子縁組団体にも、「にんしんSOS」の相談窓口があります。



Q7

どうしても産めないから、
赤ちゃんをおろしたい。
中絶っていつまで
できますか?

もくじ

Q&A15

もしかして…妊娠? どうしよう…



I 気づいていますか? 誰にも言えない妊娠

見えない妊娠クライシス

妊娠を自己責任にせず0日死亡をなくす

誰もが切れ目なくつながれる相談・支援を 佐藤拓代

- 1 コロナ禍があぶり出した妊娠・出産をめぐる困難
- 2 妊娠のいきさつと誰にも言えない妊娠クライシス
- 3 赤ちゃんの生後0日死亡の背景と要因
- 4 母子保健と児童福祉双方からのアプローチ
- 5 ポピュレーションアプローチが救う誰にも言えない妊娠



II 知っていますか? 日本の性と生の現実/リアル

10代・若年の性と妊娠・出産

誰にも相談できない妊娠に悩む少女たち

妊娠は自業自得? なかったことにしたい妊娠 松岡典子

- 1 変化する10代の妊娠——現状と背景
- 2 高校生の予期しない妊娠・出産と学業継続
- 3 10代のコミュニケーションツールと性
- 4 妊娠を放置する背景、医療機関とつながらない要因と対策
- 5 性虐待被害、知的障がい、福祉施設内の子どもたちの問題
- 6 新型コロナ禍の相談現場から見る若者の性

妊娠葛藤相談の現場から

支援の切れ目を希望につなぐ

女性の自立と子どもの福祉のために 赤尾さく美

- 1 「産むことを助ける」助産師、葛藤から養子縁組へ
- 2 医療・保健、福祉、教育の切れ目をつなぐ
- 3 出産前後を安心して過ごせる居場所支援
- 4 産む使命・育てる使命、女性の自立と子どもの福祉
- 5 特別養子縁組という新たな親子の関係性



III 海外に学ぶ 女性と子どもへの人権尊重と支援

韓国

予期せぬ妊娠をしたすべての女性への支援

未婚母支援から養育支援・子どもの権利保障へ 姜 恩和

- 1 子どもの養育と女性の自立支援へ
- 2 養子縁組制度の概観
- 3 1989年母子福祉法以前の未婚母支援事業
- 4 1989年母子福祉法制定以降の政策
- 5 他者に知られたくない妊娠——ベビーボックスの課題
- 6 全国统一「危機妊娠緊急電話1422-37」の誕生
- 7 匿名でできる相談、出産後を見通した支援へ
- 8 日本ですむ「にんしんSOS」相談窓口の設置

海外の法制度・支援

母子のプライバシーと権利を守る内密出産

日本で解決すべき法的・制度的な課題とは 床谷文雄

- 1 2000年頃から始まった欧米の支援の法・制度
- 2 女性の身元を明らかにしない出産の方法
- 3 合法化されたフランスの匿名出産
- 4 ドイツの新しい内密出産制度の意義
- 5 日本でも喫緊の総合的な内密出産制度



コラム

- 0 緊急妊娠避妊薬「アフターピル」
コロナ禍の朗報、オンライン処方
- 1 アメリカ映画「JUNO/ジュノ」
女子高生の選択した自分らしい行動とは
- 2 NHKドラマ「透明なゆりかご」
いのちの現場の物語
- 3 ドイツ「妊娠葛藤相談所」
刑法でも規定、公的機関であり出産後も相談
- 4 フランスの匿名出産
個人の決断を法が守る「自由・博愛・平等」
- 5 ドイツ「ベビーボックス」
母子を守る多様な方法



あとがき 女性の自己決定を支え、いのちを救う 佐藤拓代

参考書籍・文献・DVD
全国のにんしんSOS相談窓口

関連法規 児童の権利に関する条約/児童福祉法/児童虐待の防止等に関する法律/子供の貧困対策大綱/母子保健法/母体保護法/
刑法/成育基本法/文部科学省通知「妊娠した生徒への対応等について」